ASUKA COMICS

獄門島（ごくもんとう）

JET

原作／横溝正史





ASUKA COMICS

獄門島

JET

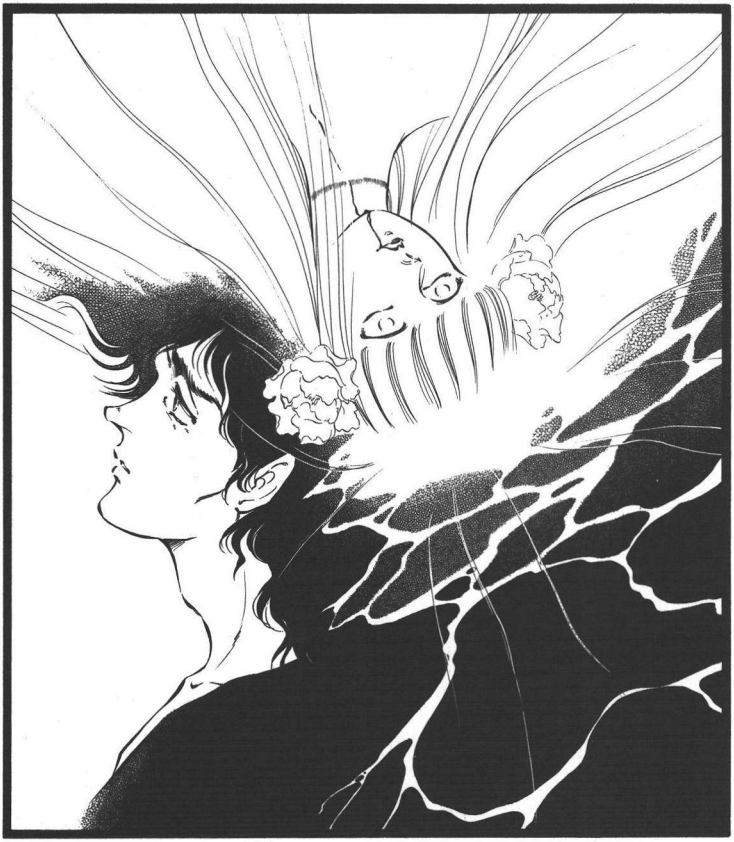
原作／横溝正史

角川書店

あすかコミックス

獄門島（ごくもんとう）

JET（ジェット） 原作 横溝正史（よこみぞせいし）



目次

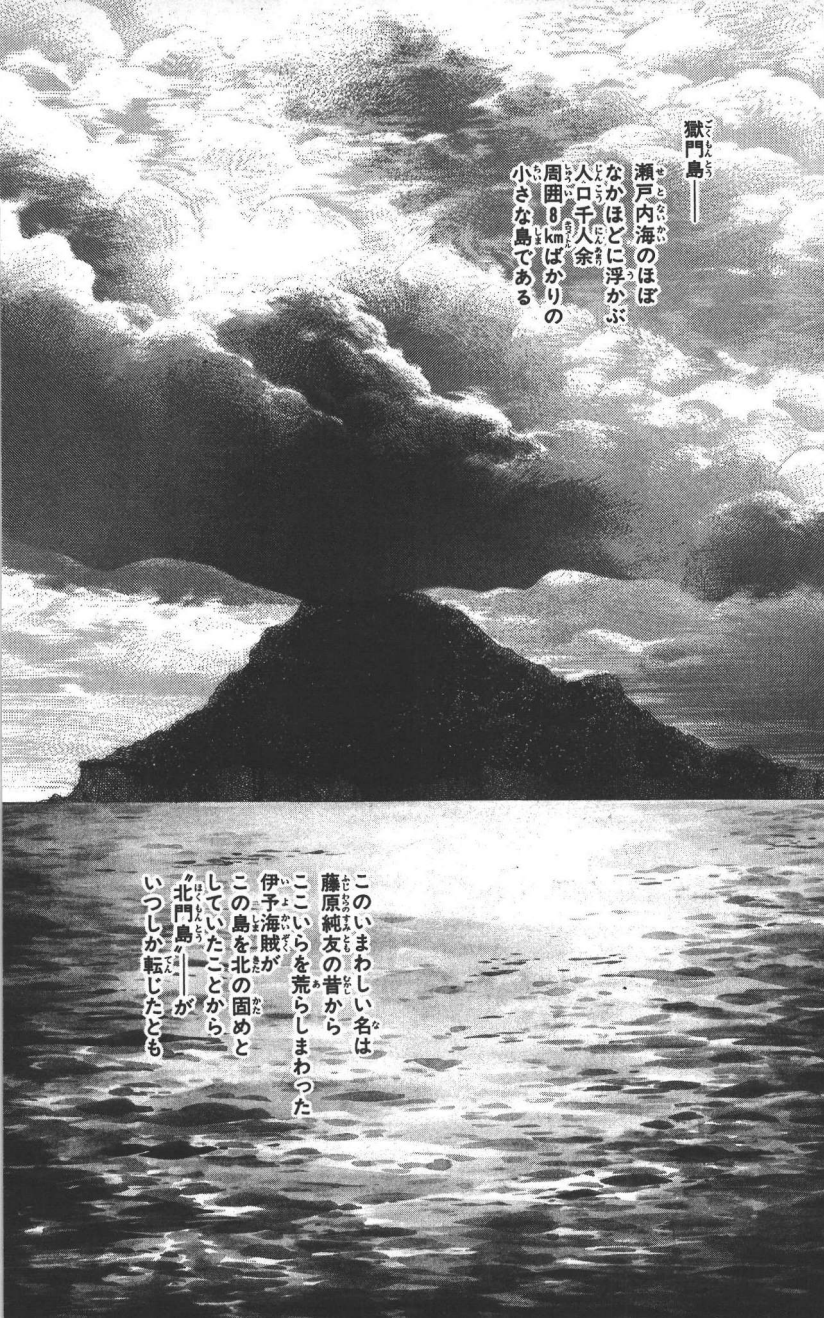
獄門島……3
雑記・金田一耕助考……197

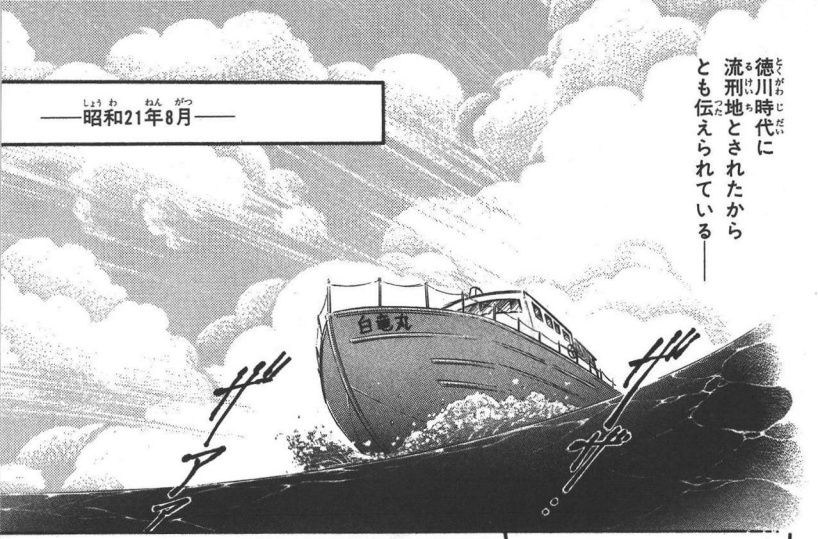

獄門島
…死にたくない
おれは…おれは
死にたくない……
おれが かえって
やらないと…
三人の妹たちが
殺される……
行ってくれ……
おれの…代わりに
獄門島へ――





獄門島


獄門島――
瀬戸内海のほぼ
なかほどに浮かぶ
人口千人余
周囲8kmばかりの
小さな島である
このいまわしい名は
藤原純友の昔から
ここいらを荒らしまわった
伊予海賊が
この島を北の固めと
していたことから
〝北門島〟――が
いつしか転じたとも


徳川時代に
流刑地とされたから
とも伝えられている――
――昭和21年8月――
白竜丸


当分 船には
乗りたくなかった
んだが…

……千光寺の
吊り鐘が――


ふむ
鋳潰されもせず
無事に生き残って
おったよ
吊り鐘の復員
というとこで
ござりますな
復員と言えば——
分家の一さんも
ちかく戻られる
とか
ほう——
一さんと同じ部隊にいた
戦友が ことづてを——
いずれ近い便で
帰るからと
早苗さんが
喜んどるろう
へえ——
だいぶ しこたま物を
もろうていったようで
ござります


これで本家の千万さんが生きているということはござりませんなあ
……そうじゃ
本家が生きておればいうことはない――
あなたは獄門島の了然和尚さまじゃありませんか？
…あの…
ザザ…

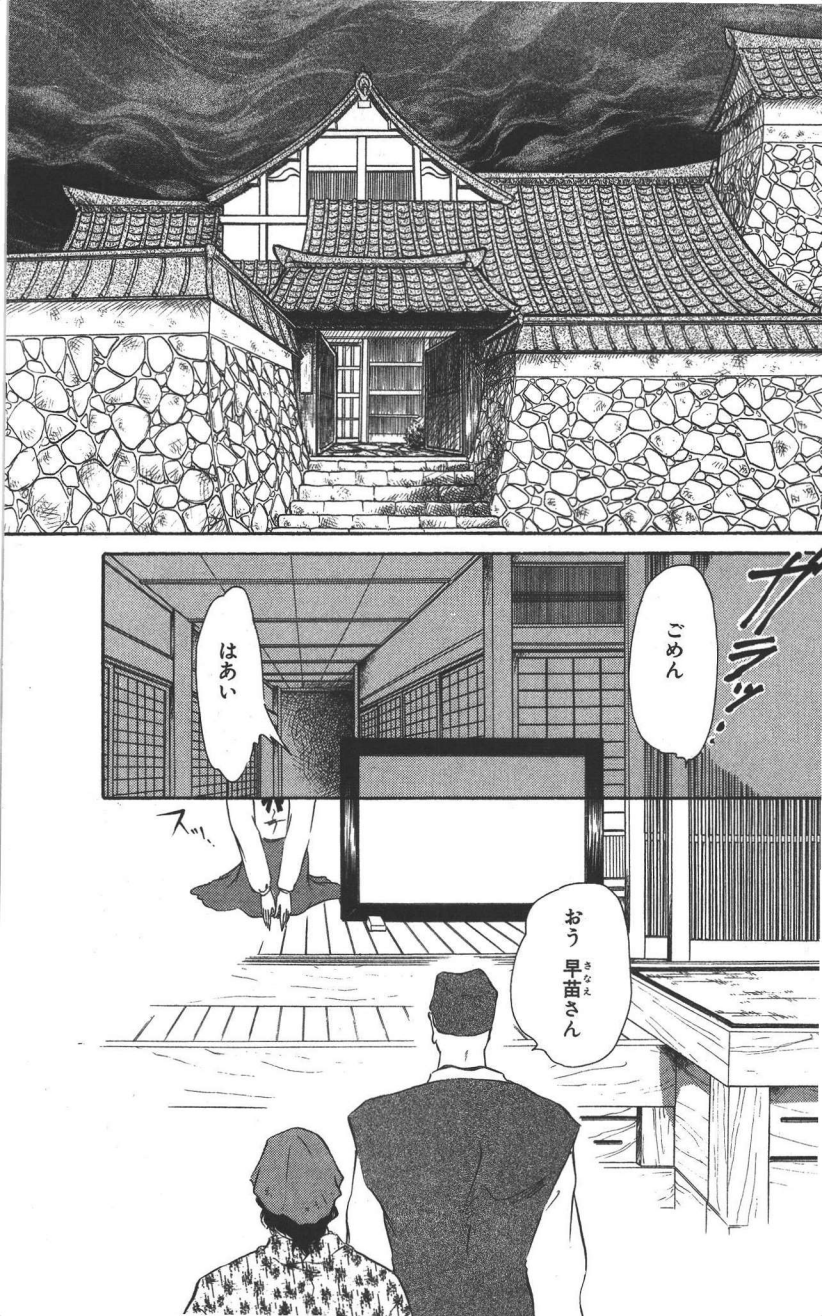

——千万さんの字じゃな
御本人はどうされたので？
帰って来なさらんので？
そ それが…
——戦死…されたのか？
いえ… 戦死ではありません
ひと月ほど前 復員船の中で…
いずれ公報がありましょうが 僕は鬼頭君の依頼をお報せにいくところなのです


なんてまあ
運の悪い
…夏草や
つわものどもが
夢の跡――じゃな
は？
なに あの音じゃよ
機雷を爆破
しておるのじゃ


――ほら
あれが獄門島じゃ


ほら
あの高いところに
見えるのが わしの寺
その下の
大きな白壁の家が
おまえさんの訪ねる
鬼頭の本家じゃ


それから
分鬼頭と
村の中心部——
あれ 和尚さま
お帰りなさいませ
お帰り
なさいませ
漁師村を出外れると
路は急にけわしくなる
その坂のつづら折れを
登っていくと そこに
本鬼頭の広大な屋敷があった…


ガラッ
ごめん
はあい
スッ
おう
早苗さん


いらっしゃいませ
お客さんを御案内して来た娘たちはうちにいるかな
はい奥に…
そうかじゃあ あがろう
金田一さんもさあ おあがり
あ はいっ
どうぞ
あ どうも


ポッ
ポッ
早苗さん
ここはええでな
娘たちをはよう
こっちへ
どうせ お化粧に
ひまがかかるじゃろが
――鬼頭――
するとこれが
一という人か――
復員船の
熱気のなかで
腐った魚のように
死んでいった
鬼頭千万太

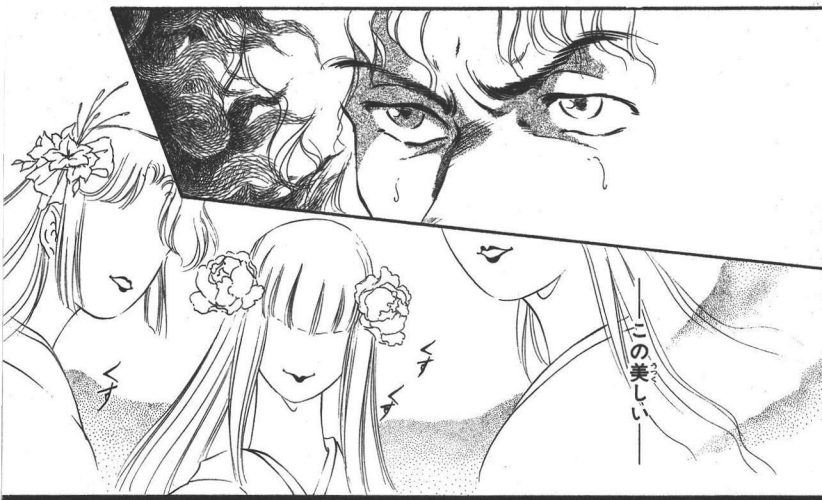

…おれは　もう駄目だ…
金田一君…
おれの代わりに…
…獄門島へ…
おれがかえってやらないと
二人の妹たちが…
殺されるんだ……
おれの代わりに…
二人の妹…
ウ
ウ
え？
ギャーッ
ギャーッ


おこった
おこったァ
アホウは
ほっとき
行くでえ
雪枝ちゃん
お客さんて
だれやろ？
鵜飼さんや
なあい？
阿呆らし
鵜飼さんなら
玄関から
来やはらへんわ
あのかた
裏から そっと
会いに来てくれ
はるのよ
誰に？
わてに
きまっとるやないか
あほらし
わてに会いに
来てくれはるん
やでえ
姉ちゃん 待ってえ
わての帯
結び直してえ
花ちゃん
ぐずぐずしてたら
お客さん
帰ってしまうでえ


…あんな人
知らんなあ
あんまり
ええ男じゃ
ないねえ
これこれ
娘たち
早う こっちへ来て
お客さんに
挨拶せんかい
きこえてたァ


金田一さん
これが千万太の妹じゃ
十八をかしらに三人年子じゃって
しゃんしゃん


月代で
ございます
あ
はいっ
雪枝で
ございますゥ
花子で
ございまあす
あ どうも
はじめまして
こちら 金田一さん
千万太兄さんの
戦友じゃ



しかし どっか尋常でない
三輪の狂い咲きを
目のまえにして――



金田一耕助は 今 はじめて
自分をここへつれて来た使命の
容易ならぬことを
識ったのである


降ってきよったの…
パタパタ…
和尚！
和尚――
今竹蔵に聞いたんじゃが


千万さんが死んだというのは本当か!?
……うむ
これは村長の荒木と漢方医の幸庵じゃ
…そうかー
死んだか…
千万太兄ちゃん死んだのん?


…そうじゃ
死んでしもうたのじゃ……
ア！
――この時の緊迫した沈黙を
耕助はその後 長く
忘れることができなかった


何かしらそこには
骨を刺すような
無気味な怯えと恐れがあった
!!
寺光
ガラ!


和尚さまより
言いつかっております
本鬼頭のお客様じゃが
あそこは女ばかりの
所帯ゆえ
この書院を
お使いください
心ゆくまで御逗留
静養なさってください
——とのことです
あ あの
了沢君
あのですね
はい？
さっきから気に
なってたんだが…
本鬼頭と
分鬼頭って…
鬼頭家が二つ
あるの？
はい
分鬼頭というのは
本家の分家筋に
あたる網元で——
分家じゃ
ありませんよ
ﾌｯﾌｯﾌｯ


分鬼頭ってのはね
お客さん
なん代か前に
本鬼頭から出て
今じゃ ちゃあんと
網元をはってるんですよ
分鬼頭の
おかみさん…
はァ…
何か
御用ですか
いえね
千万さんが
死んだってゆうじゃ
ないかえ
なのに親類筋の
ウチの主人に
ひとっことの挨拶も
ないもんですからねェ
本当にひどいんですよ
お客さん
はい？





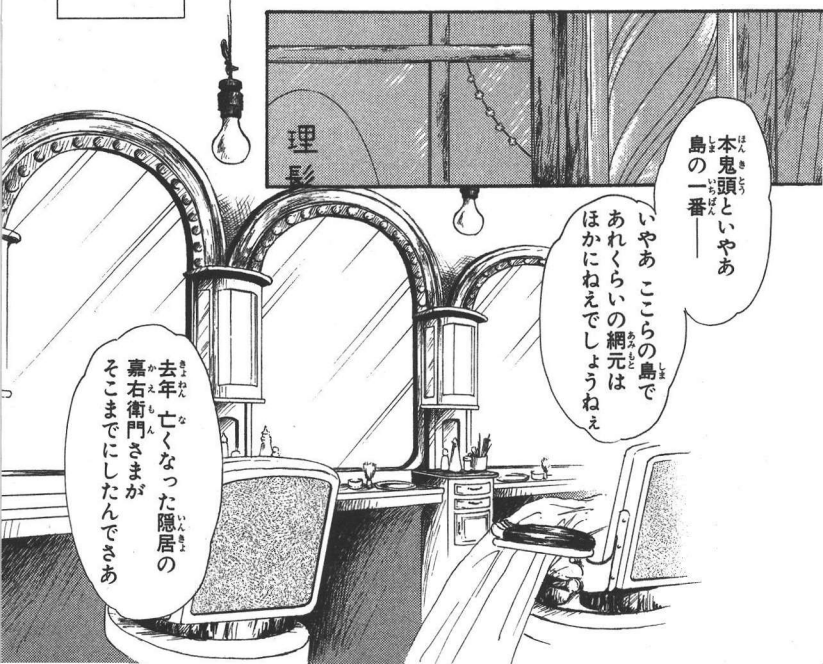
…どうやら——

二つの鬼頭家は
仲がわるいらしかった
——

そのせいだろうか

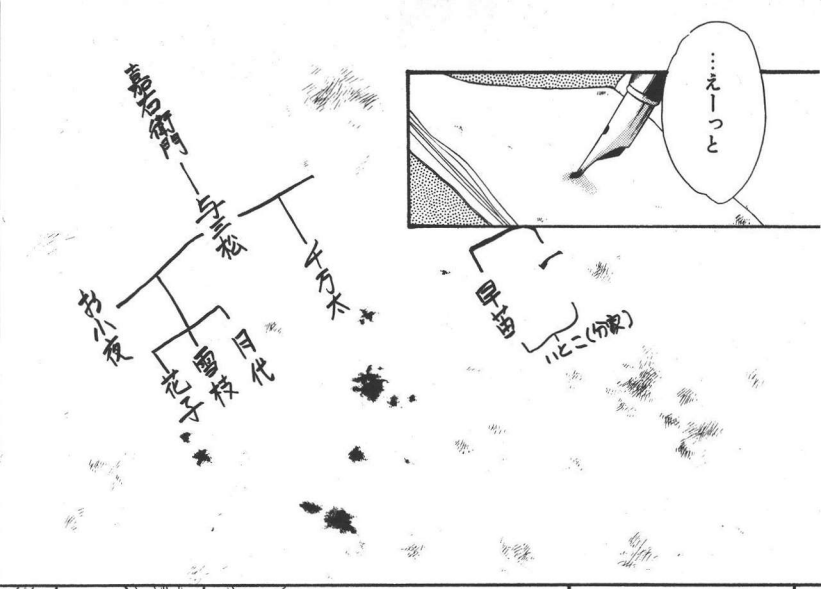

島民たちは
妙に落ちつかない
表面上は
親切にしてくれて
いるが——


おそらくは みな
どちらの鬼頭家に
つくのが得策か
まよっているのだろう
こんな小さな島では
死活問題
だろうから——


理髪
本鬼頭といやあ
島の一番——
いやあ ここらの島で
あれくらいの網元は
ほかにねえでしょうねぇ
去年 亡くなった隠居の
嘉右衛門さまが
そこまでにしたんでさあ


その嘉右衛門さんが千万太君のお父さんかい？
じいさんですよ！七十八歳でしたぜ？
ボロッ…
あ……先だけ刈ってくれればいいんだ
…こりゃ大変な頭だね
ハサミ
千万さんのおふくろさんは早くに亡くなりましてね
お小夜ってエ後添えをもらったんですがこの人も大分まえに亡くなりましたよ
…じゃああの三人のお嬢さんは千万太君とは腹ちがいなのか
千万太君のお父さんは…？


与三松の旦那ですかい？
……生きてはいますよ
――何か？
つまりその……大きな声じゃ言えねェが気が狂ってるんですね
もう十年以上もあの家の座敷牢の中ですよ
あの時の叫び声――！
どうかすると暴れだすんで――早苗さんにだけはなついているそうですが
あ 早苗さんてのは千万さんのいとこです
両親がはやく亡くなったんで兄の一さんといっしょに本家にひきとられたんできあー


…えーっと
嘉右衛門
与三松
千万太
お小夜
日代
雪枝
花子
早苗
ハニ(小夜)


いや…
頭が悪いもんで
ちゃんと覚えて
失言なんぞ
しないようにとね
メラメラ…
おや おひさしい
分鬼頭のおかみさんに
かわいがられすぎで
外にも出られなかった
んじゃないですか？
鵜飼さん
鵜飼!?


——はあ…
これが——
鵜飼さん
見ィつけた！
鵜飼さあん
吊り鐘
見に行かへん？
そうですねえ…
行こ行こ
わあ 行こぉ


ホホホ


…あれですもんねェ
嘉右衛門さまも
安心して住生できん
かったでしょうなあ
嘉右衛門さまは
太閤さんのような
おひとでした
島中だれ一人
太閤さんに楯つく
ものはなかった
ただ一人
分鬼頭のお志保を
のぞいては



嘉右衛門さんも お志保で初めて
加茂川の水とサイコロの目のほかにも
ままならぬものがあることを
知ったんです

それがあの人の
卒中の原因だから
修羅の苦患が
思いやられますよ…




やぁ駐在さん
吊り鐘を
見ているんですか？
いやいや
海賊が現われたから
警戒を厳重にしろと
笠岡の本署から
電話がありましてな
は？
海賊!?
新聞に
のっとったでしょう
復員軍人の一団が
ピストル片手に
ここらの島を
荒らしまわっとるん
ですわ


…そりゃ…
ここにもひとり
復員軍人は
いますがね
ぐや
ぐや
はげは…
アンタに
海賊はムリ
でしょう…
どうです
一本
あっ
ど どうも♡
…金田一さん
わたしは今
妙な予感を
持っているんですよ
あんたにいうと
笑われそうだが
虫の知らせと
いうやつですな
――なにか いまに
起こるんじゃないか

この獄門島に
恐ろしいことが
起こるんじゃ
ないか――と



――それは
耕助自身も
強く感じていた

獄門島の空を
妖気をはらんだ
黒雲がおおってゆく

嵐のまえの緊張感が
限界に達しようとしている
――

――鬼頭千万太の
戦死の公報が入ったのは
その日の夕方だった


…三日ののち——
——労働ニュースの時間です——
いやあん お勝！帯がゆるいィ
もう花子はええやん
次はウチや
どうしたの花子ちゃん——
！
晴れ着なんか着て——！
今夜は千万太兄さんのお通夜なのヨ！


どうしても喪服は着てくれませんので……
あんな辛気くさいもん着るならお通夜なんか出えへんもん
そうやでェ
パーク
パーク
パーク
ミイ
シッ！
姉ちゃんたちにナイショやでェ


あれ お客さん
どちらへ？
え…
あの——
お忘れですか
竹蔵ですよ
ほれ連絡船の中
で——
ああ！
分鬼頭へちょっと
おつかいに——
へえ？
そりゃ
御苦労さま
ではのちほど
本家で
カツ
カツ
カツ
縁神社


今日も無事に終わりますように
おっといけない
いやな風だ
オオ
オオ
いやな雲だ——



おう
金田一さん

すまんすまん
分鬼頭へは
本家から通知が
いってたんじゃそうな

はあ
ご主人が病気で
手がはなせないので
失礼するそうです

ああ和尚さま
ご苦労
さまです

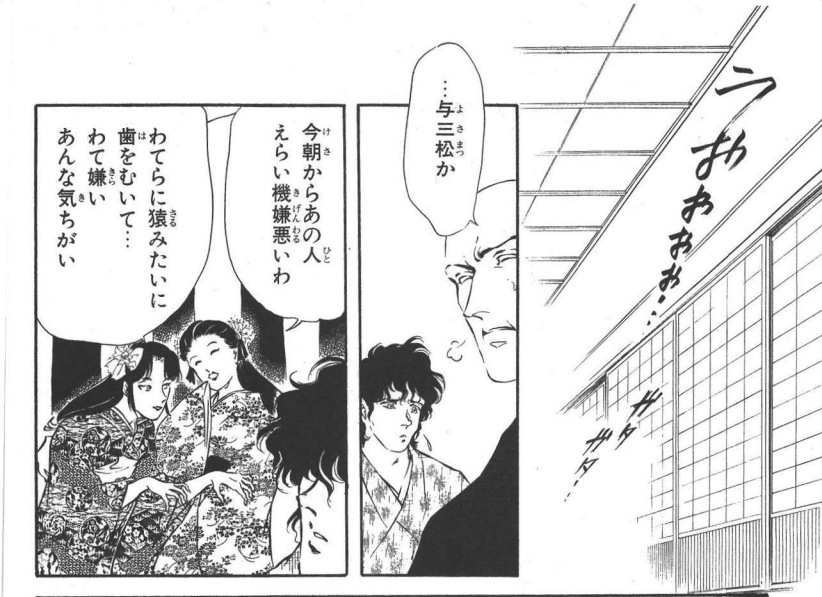
…復員便りを
終わります

――あ！


復員便りですか
お兄さんも早く
戻られると
いいですね
はい――
そこらへんで
遊んでるんじゃ
ないのかい？
ぎゅっ
ぎゅっ
さて？
竹蔵さん
花ちゃんを
見なかった？
――十時をすぎても
花子は帰って
来なかった


…六時十五分頃までは たしかにいましたわ
まさかあの鵜飼のヤロォが……
幸庵さん
そりゃほんまでございますか
これ！
お？
おお
ほんまじゃほんま！
分鬼頭のあの色男なら夕方 寺のほうへのぼってったぞな
花子は今日あの男と会う約束でもあったのかな!?


鵜飼さんが
花子ちゃんと？
阿呆らし！
ほんまや
花ちゃん
ウソばっかり
ついてるもん
もう一度
家のなかを
探してみますわ
ふむ…
わしらも
手分けして探そう
竹蔵さん
分鬼頭のほうへ
行ってくれるか
了沢もいっしょに
行け
村長は村の中を
探してくれ
ああ
ぼくも——


おおおお…
…与三松か
今朝からあの人
えらい機嫌悪いわ
わてらに猿みたいに
歯をむいて…
わて嫌い
あんな気ちがい


早苗さん
病人が悪い
ようじゃな
花ちゃんは
いませんでしたわ
――ええ
このごろなんだか
気があらくなって
え？


じゃあ
金田一さん
幸庵さんを
送ってやって
くださらんか
わしは一応
寺へ帰ってみる
まさか今ごろまで
寺で遊んどりも
せんだろうが…
あれ まあ
旦那さん！
じゃあ
ぼく
これで！


何かある？
いや何かあったにちがいない
この闇
この風——
花子のような娘がこんな晩にいまごろまで外で遊んでいるとは思えない
何があった——!?
——三人の妹が殺される——


金田一さん


どうです！
何かわかりましたか
いや
知らんちゅうて
けんもホロロの挨拶で
ああ
和尚さまが
あそこへ
帰ってゆく


ああ
和尚さんも
こちらに気づかれた
提灯をふって
おられる
もういちど
和尚さんに
会ってみましょう
どうしてよいやら
わかりませんで
そうですね


——了沢——
——了沢——
たいへんじゃあ
はよう
来てくれ!!
和尚さん!?

…金田一さん
あれを……
あれを――


ひいっ
ナゴ
ナゴ
なんだこれは
これは いったい
なんなんだ!!
きちがいじゃが
しかたがない
――え


気ちがいじゃがしかたがない？
いかん！
雨だ！
竹蔵さん！幸庵さんを呼んできてくれませんか
へ…へいっ
そろそろ酔いもさめてるだろうから
それと駐在の清水さんも！


足跡がメチャクチャになっちまいますね和尚さん
――和尚…？
和尚さまあ
和尚さまたいへんです!!


…何を見てたんだ
——禅堂か？
ほ ほら！
勝手口の錠前
がこわされて
います！
ガラ…
あっ
泥棒め
土足であがりおった！
了沢！
なくなったものがないか
調べてみい!!
はいっ


はいって……
出たか——
軍靴の跡だな
右足に妙な傷がついているからいい目印になる
金田一さんちょっと——
何かありましたか和尚さん
泥棒めこんな所で煙草をすいおった


妙な煙草じゃな
英和辞典で巻いてありますね
手巻きにするには手頃な紙だから…
この島で辞典なんか持ってるというと…?
本家なら——千万さんも一さんも学校へ行ったで——
!
……お…
お和尚さん何か——な何か知ってらっしゃるんですね
いいや
そんな…馬鹿な
…以前に…


早苗がこんな紙で煙草をまいているのを見たことがある…
伯父さまが吸うとか言っておったが…
伯父さまって…
あの座敷牢の――!?
そうじゃ あの気ちがいさんじゃ
――じゃ今夜ここへ来たのは座敷牢にいる本家の御主人だと?
馬鹿な!


——しかし
あなたは
さっき 妙なことを
おっしゃいましたよ
わしが…？
死体のそばで
つぶやかれました
気ちがいじゃが
しかたがない
…と聞こえましたが
気ちがいじゃが
しかたがない
…？
ええ
たしかに
本家の御主人さんが
どうしたんだろうと
変に思ったんです
気ちがいじゃが
…？


——和尚さん
…金田一さん
あんたは勘違いをしとるんじゃ
なるほどわしはそんなことをゆうたかしれん
しかしそれは本家の主人となんの関係もないことじゃ
しかし……それじゃあれはどういう意味で——
それは言えん！


世の中にはな
あんたなどの
思いも及ばぬ
恐ろしいことがある
そうじゃ
まったく常識では
考えも及ばぬ
恐ろしいことじゃ
――まったく
気ちがい沙汰じゃ
しかし…今は言えん
何も聞いてくださるな
尋ねても
無駄なことじゃで
――死因は絞殺――


その前に
ひどく側頭部を
ぶん殴られとるな
気を失うた所を
絞殺されたんじゃろう
凶器は？
日本手拭いみたいな
もんじゃないかな
殺されてから
五時間か六時間
ぐらいかのう
…じゃあ ゆうべの
六時半から七時半
ぐらいに…
妙なもんを
持っとるぞ？


表に〝月代さま〟
差出し人は
〝御存じより〟
…鵜飼くんですね
すると和尚さん
あいつが花ちゃんを
おびき出して そして
殺したのでござりますか!?
…鵜飼が……?
花ちゃんを…?!?
…どうもピンと
こないな
ただの
操り人形の
ように見えたが
……
だいいち犯人は なぜ
あんなところへ
死体をぶらさげたんだ?
和尚さま!
泥棒がぬすんで
いったものが
わかりました!
ほう――


この中にはまだ半分ほども御飯がのこっておりましたのに——
——惨劇の夜は——
——霧のふかい朝となって明けた——
…もう少しこうしてよう


其角か…
字は達者すぎて読めんなあ…
こっちは芭蕉か
一つ家？
——ああ！
〝一つ家に遊女も寝たり萩と月〟か
金田一さん
まだおやすみですか——!?


ちょっちょっ
ちょっと待って
ください
今行きます！
やあ――！
清水さん
ああ では
その大メシぐらいの
泥棒の足跡を
見にゆきますかな
……？
ふむ なるほど
このような軍靴を
はいたヤツを
さがせばいいワケ
ですな


ええ だから——
じゃあ次は本堂の方へ行きましょう
あ…れ？
変だな 外へ出た足跡の上を中へ入った跡がふんでいる
入って…外へ出て
また中へ入った!?
じゃあ どこから出て行っ…
禅堂だ!!


そうか！
あの時 犯人はまだ
禅堂の中にいたんだ
和尚さんはそれを
知っていた！
知っていて
見逃した！
——和尚さんには
犯人が誰だか
わかっていた
んだ——
金田一さん！
…は はい？


あんたはわしを
なんだと
思ってるんですか!?
わしの捜査を
妨害する
つもりかね!!
はあっ!?
警官たるわしを
さしおいて
勝手に死体をおろしたり
吸い殻をかくしたり
——現場を
メチャクチャにして!!
あ
ちゃんと
もとあった所へ
おいてもらいましょう
きっちり
もとどおりに!!
は…はい
す
吸い殻
そ…
そんな


ふう
金田一さん
わしはあんたが好きだ
どういうわけか
虫がすいとる
しかし——あんたはよそ者だ
風来坊のくせに
探偵みたいに
ほっつき歩いて
少しは自分が
疑われていると
いうことに
気づいたらどうです？
あんたが
一さんの紹介で
来た人なら
わしはとうに あんたを
ひっくくっておるぞ
……えっ
おわかりに
ならんかな？


本家の千万さんは
死んでしもうた
千万さんが死んだから
次は一さんが
本鬼頭をつげるか
というと
そこには まだ
月雪花の三姉妹が
いる
これを片っぱしから
殺してしまわん
ことには——
そこで
刺客をやとう——
し 清水さんっ
わかっとるよ
あんたは確かに
千万さんの戦友だ
…あなたは なんだって
そんな恐ろしいことを
考えたんです?
一さんという人は
そんなことを
やりかねないような
人なんですか?


わしは知らん——
なぜそんな恐ろしい疑いを持ったのか自分でもわからん！
この獄門島のせいでしょうよ
この島の閉鎖的な——常識では測り知れん妙な空気のね
……で？
誰がこんなことをしたんです？
誰が花ちゃんにこんなむごいことをしたんです！


それがわかれば世話はないが…
ここは大都会じゃありませんのよ！人間の数だって知れています！
だから誰が殺したにしろそれは島の人間にちがいないんです
それで犯人がわからないなんて——
わからないはずはありません！
花ちゃんは鵜飼さんの手紙を持ってたというじゃないですか
鵜飼さんのうしろには…
ヘンないいがかりはよしてもらいましょうかねェ！
そのことについちゃあみなさんにようく聞いていただきたいですわね!!


ようく
聞こうじゃないか
それ 花子も
聞いておるでな
鵜飼さん！
ちょいと
いらっしゃい！
ぼ…ぼく
疑われてるって
聞いたものですから…
たしかに寺へは行きました
七時ちょっと前に——
でも いつまでたっても
月代さんも誰も来ないので
——そう七時半ごろ帰ったんです
それだけです


しかし手紙は月代ではなく花子が持っておったがー？
月代さんとぼくが手紙をやりとりする時はいつも愛染かつらの幹のうろに入れておくんです
花子さんはそれを知ってたんじゃないでしょうか——
愛染かつら??
ただのノウゼン葛なんですけど…
お疑いはれましたかしら？
ええ あの手紙はあたくしが口述してかかせたものですよ
だっていいじゃありませんか
好きあってる者どうし——ジャマをしてた花ちゃんもいなくなってうまくまとまるでしょうよ！


…あの…
早苗さん…
すいませんが…
これを見て
いただけませんか？
…これは
伯父さまに
まいてあげた
…？
これが
なにか？
これは
千光寺の境内に
おちていたんですよ
花ちゃんの死体の
すぐそばに…
軍靴の跡と
いっしょに

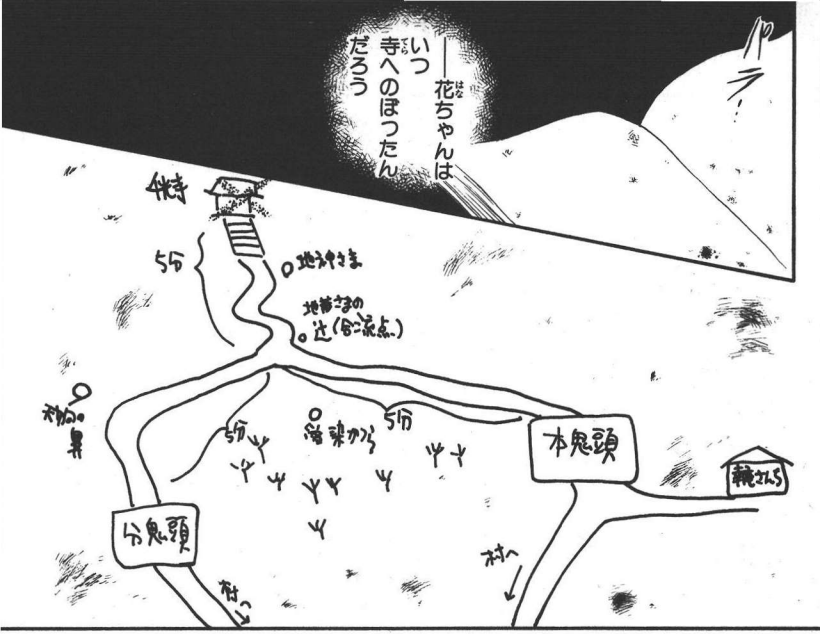

金田一さん
どうです
駐在所へ寄って
いきませんか
いろいろと
相談したいことも
あるし…
はあ…
じゃ ちょっとだけ
ちょっと
待ってて
ください
はあ…
…えーっと…


金田一さん
金田一さん
ちょっと
来てください
どうか
しましたか？
こっちです
こっち！
はやく――
――清水
さん？
ドドド
しし
清水さん!?


な なにを
するんですっ!?
お気の毒じゃが
しばらくそこに
いてもらいますよ
そ そんな
ど どういうわけで
ぼ ぼ ぼくを…
どうも
あんたの様子は
おかしいでな
なに
身元がわかる
までのしんぼうじゃ
特別のはからいで
夜具も入れといて
あげた


そ そんな
し 清水さんっ
ちょ
ちょっとっっ


とんでもない
か勘チガイですよっ
ぼ ぼくは
ぼくは
ぼ ぼく
犯人じゃ……
清水さんの
バカ～～ッ
…ふう…
…まいつか
ぱふっ
身元が判れば
出してもらえる
だろ…



六時半から七時半すぎまで
寺と本鬼頭の間には
必ず人がいた

なのに誰も
花ちゃんを見ていない

どこかへ
寄り道してたのか？

関係者の
アリバイは…
と——？

花ちゃんが殺された
時間の間に
ひとりでいた時間が
あるのは——

！


俺と鵜飼くんだけじゃないか
清水さんがうたがうワケだ…
——やがて昨夜の睡眠不足も手伝ってすぐ耕助は深い眠りに落ちてしまった
だから その晩 どんなことが起こったか 彼は少しも 知らなかったのである
金田一さん!
あんた ゆうべここから出やあせんだろな
ぼくが…? 冗談言っちゃいけませんよ

わしはあんたにすまんことをしたのかも知れん…

とんでもない勘ちがいを…

な なにか また――!?

なにがあったんです!?

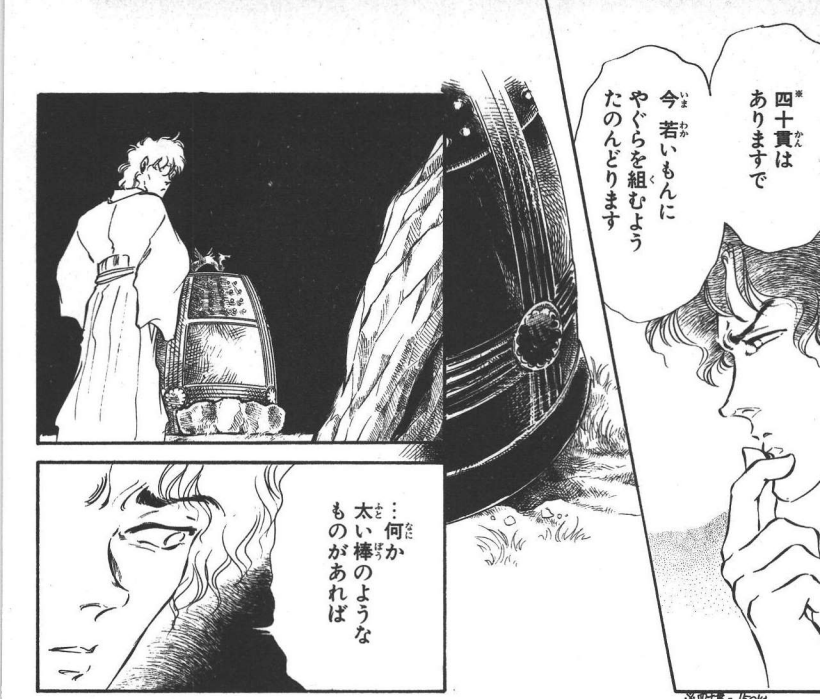
清水さんっ!!

…おれの代わりに獄門島へ……

…おれがかえってやらないと…三人の妹たちが殺されるんだ…

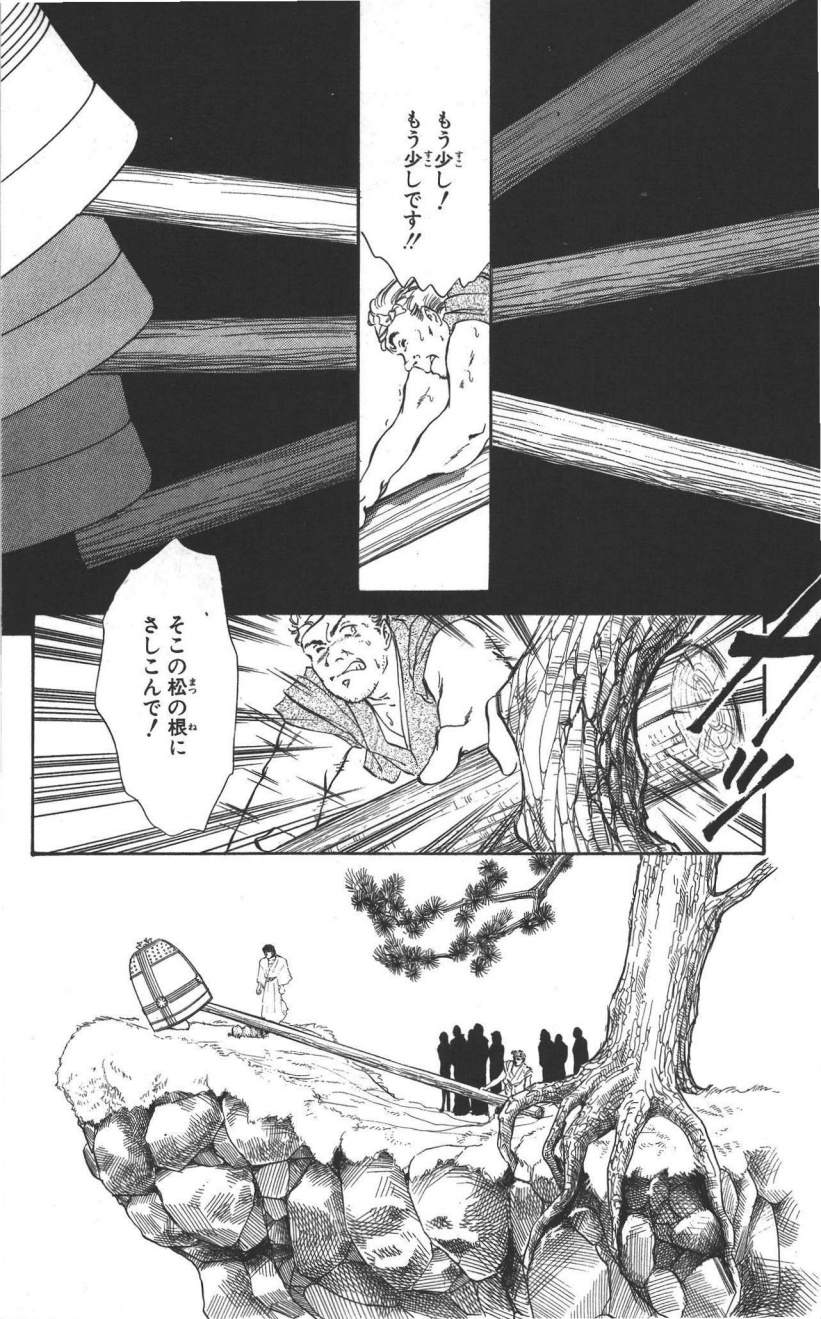

――妹たちが殺される――
花子は殺された――
次は――
…雪枝さんの振り袖です…


まだだ！
これは いったい
なんの真似だ!?
最初が梅の木で
今度は——
——むざんやな
冑の下の
きりぎりす
——死を茶化すような
言動は耕助には
理解できなかった
あむ…
いや
失礼——
それが和尚の
言ったことであれ
——犯人の
したことであれ
とにかく
このなかに
雪枝さんがいるなら
早く吊り鐘を
あげなきゃあ
しかし…


※四十貫はありますで
今若いもんにやぐらを組むようたのんどります
…何か太い棒のようなものがあれば
※四十貫＝150kg


こんなんでよろしいんで？
た 竹蔵さん
あんたそれどこで…？
そこの草むらの中でさあ
こりゃ船着き場のじゃが誰がイタズラしたやら


——犯人と同じことをしてみましょうか
ザワッ…
梃子の原理ですね
うまいぐあいに地蔵さまの台座と松の根っこがある
へいっ
じゃあ竹蔵さんおさえて！


もう少し！
もう少しです!!
そこの松の根にさしこんで！


とんだ道成寺だこと！
だけどこれあべこべじゃない？
安珍じゃなくて清姫が吊り鐘に入ってるなんて！
お志保！
いくら雪枝ちゃんのおっ母さんが女役者だったからって
娘まで〝鐘入り〟をやって見せるなんて!?
今度は誰をたぶらかそうってのさ!!


よさんかっ
帰るぞ!
いやよ いやよ
あたし見てるの
雪枝ちゃんが
どんな顔してるか
見てるのよオ!!


——やがて雪枝の遺体は
本鬼頭へと
運ばれていった
幸庵さんの診察に
よれば
雪枝が殺されたのは
昨夜の六時から
七時の間
死因は日本手拭い様
のものによる絞殺——
——三人娘の母——
——女役者——
——鐘入り——
何かがそこにありそう
なんだが——
やあ
警察のランチが
来たぞ！


こちらも大騒ぎだそうだねえ
私は当獄門島駐在の清水巡査で…
やあ！
磯川さん！
――金田一くん！
金田一くんじゃないかね!!
警部さんおかわりなく！

そういう君こそ
あいかわらずじゃ
ないか

〝※本陣〟からだから
九年ぶりかねェ
名探偵金田一耕助が
のりだしてるなら
事件も じき解決だ

※本陣殺人事件。金田一耕助の初登場作品也。

事件と
いえば…

いやに人数が
多いようですけど
他にも何か…？

一昨日 この辺りの海上で
海賊の船を捕獲
しましてな

一味のひとりが
海へとびこんで
逃げたんですよ

泳ぎつくとすれば
この島か となりの
真鍋なんだが…


清水さん…
あの…大飯ぐらいの泥棒！
そうか!!
そうだったんだ——
——あの軍靴の跡 タバコの吸い殻——
そいつはまず本鬼頭へしのびこんだんだ
そして千光寺へのぼって座敷牢からぬすみ出した煙草を吸い——飯をたいらげた
——待てよ？


その男は
花子殺しの
犯人か？
ちがうのか？
だいたい なぜ
縁もゆかりもない
その男を和尚が
逃がしたんだ？
わからない！
さっぱり
わからない——
金田一さんっ
まったく
あんたって
人は…
け 警部さん
そいつは いったい
どういう男ですか!?
その逃げた男は——


くわしいことは——
ごく最近 一味に
加わったばかりの
若い男で
たぶん
南方からの復員兵
だろうということ
ぐらいで…
いる！
和尚が かばいそうな
男——復員兵が——
一さんが本鬼頭を
つぐためには
三姉妹を——
…まさか…
警部！
ここが犯行現場
〝天狗の鼻〟であります!!

なんだって
こんな所に
吊り鐘がいるんだ？

千光寺へ運ぶ途中で
一時的に置いたものです
ここより先は
坂がきついですので

…じゃあ
死体発見の
いきさつを
聞こうか

はっ！

昨夜――その
金田一先生と
別れましてから

――本鬼頭へ
行きました！

六時半頃のことです
もちろん雪枝さんは
生きておりました

七時半頃
村長と幸庵さんと
竹蔵がきまして
――花子さんのお通夜を
始めようとしたのですが

その時には
雪枝さんの姿が
見えなくなっておりました

なにせ あんなことが
あったばかりでしたから

家中くまなく
捜しましたが
やっぱりいない

そこでまた
みんなで捜しに出ようと
いうことになりました

時間は？

八時半ごろ
でしたかねェ…

和尚には本家に
いてもらいました

月代さんがおびえて
はなしませんでしたので

千光寺

本鬼頭

分鬼頭

私と村長さんは
分鬼頭へむかいました
了沢くんと竹蔵は
寺へとのぼってゆき

あれ？
幸庵さんは

またへべれけで
寝ておりましたので…

途中ここを通った時
吊り鐘も調べましたが
あの振り袖は
出ておりませんでした



雨はふりだすし
風がすごくて
波はたけってるしで——

どうにか こうにか
分鬼頭へたどりついたが
知らんの一点張り

ところが ふと
妙な声が聞こえて
——助けを呼んで
いるような…

あわてて坂を
ひき返しました
分鬼頭の連中もいっしょです

その時
振り袖は？

…さあ…？

どしゃぶりの中
寺へののぼり口まで
もどってくると
林の中でわめき声がする

見ると幸庵さんが
ひっくり返っていた
——左の腕をブラブラさせて


幸庵さん!?
なんでも
例の〝愛染かつら〟を
思い出して
見に行ったんだそうで
そこでくせ者と
はち合わせして
格闘して左腕を
折られちまったってんですが
例の海賊じゃな!
でも幸庵さん
妙なことを
言ってるんですよ
その男——
顔は見えなかったが
本鬼頭の裏木戸から
出てきたように
思う——って
やっぱり——
一という男なのか
——?
ふ——ん…
それで?


結局雪枝さんもくせ者も見つからないし雨はひどくなるしで
全員本鬼頭にひきあげたんです分鬼頭の連中もいっしょにです


へえっ…？
ずぶぬれでしたしお志保はともかく儀兵衛さんは雪枝さんのことを心配しておりましたし…


それから明け方までずっと夜明かししておりました
——関係者全員アリバイ成立——というわけですね


うーん…


やはり復員服の男が犯人か……


金田一さん
こりゃいよいよ
全島の山狩りを
せにゃなりませんな
島のさわぎをよそに
本鬼頭では
雪枝の通夜が
行なわれている


耕助と警部たち一行も
本鬼頭に移って
山狩りの準備を
進めていた
こう……
西側の斜面から
狩りたてて——
警部どのっ
磯川警部どのっっ
見つけましたっ
大発見で
あります!!
なにっ!?
ほらっ
ほらっ
これ——
…風呂敷…?


山の中で
焚火のあとを
見つけまして
そこに落ちて
おりましたっ
この紋は…
本鬼頭の――？
はい！
さらには米やら
干物の食いさし
やら――
早苗さん――？
なるほど昨夜
くせものが盗みだして
六時三十五分――


復員便りは
聞こえてこない
忘れているのか
それとも
もう聞く必要が
なくなったのか——
早苗さん
…これから
山狩りに行きます
あれだけ大勢の
人間に
狩りたてられたら
きっと つかまるに
きまっている


あなた
それでも
かまいませんか？
カタ
カタ
カタ
金田一さん！
それ…
どういう意味ですの
…
わかりませんか
わかりません
あたしには
わかりません
そんな
謎のようなことを
おっしゃったって…
あたし…


金田一さん
警部がお待ちかねですよ
ああすぐ行きます
月代さんが見えないようだが…
あらわてならここにいるやないの


月代さん
その姿は…？
わて
これから
御祈禱するんや
御祈禱――？
ほら――
庭の向こうにある
白木づくりの建物
あそこが祈禱所なんです
あんたらこれから
山狩りするんやろ
悪者がつかまるよう
祈ったる
わての御祈禱
ようきくんやで
外へ出ちゃ
いけませんよ！
出えしまへん
わてかて命が
惜しいもん


人殺しなんて
祈り殺したるわ！
早苗さん
月代ちゃんを
頼みます…
気をつけてやって…
その夜の獄門島こそ
みものであった


命知らずの漁師たちが
われもわれもと
警部たちのもとへ
かけつける
三日ぶりに
晴れた空には
月が冴えわたり
地上では
幾多の炬火が
鬼火のように
ゆれていた——


――やあ
親方も
いたんですか
へへ…
なにしろ
近来の大捕り物
ですからね
床屋の清ちゃん
じっとしちゃ
いられませんや
まったく
大変なことに
なったね


しっかし旦那にゃおどろきましたねえ
島の連中もあきれてましたぜ
だってはじめはみんな旦那が臭いっていきまいてたんですぜ
ありゃあ本鬼頭の財産を横領するために来やがったにちがいねえって
オイオイ
どう逆さにふれば財産を僕がもらえるんだい
そこはそれ筋書きができてまさあ
三人娘を殺した揚句早苗さんをたぶらかし夫婦になって入りこむ
鬼頭家お家騒動始まり始まりィ
さしずめ旦那は倉橋十太夫ってとこですな

……親方！

島の人たちは
みんな そんな風に
芝居がかりに
ものを考えるのかい？

…芝居は
みんな好き
ですがね
――？

なんせ
嘉右衛門さまが
大の芝居好きで

旅の一座を
買いきって
本鬼頭の庭で
道成寺を
踊らせた
くらいですから

――それが
三人娘の
母親…？

へえ
お小夜でさァ

あればっかりは
大閤さま
一世一代の大しくじり
でしたね


与三松の旦那にしてみればおかみさんをなくしたばかり
そこへ綺麗な女役者だ猫に鰹節たあこのことでさ
もちろん嘉右衛門さまがそんなどこの馬の骨ともわからねェ女役者なんざ許すわきゃねェ
ところがお小夜のほうも海千山千のアバズレで与三松の旦那を操っていろいろ知恵をつける


同じ屋根の下に
住みながら
親子のあいだで
血で血を洗うような
いさかいが
絶えなかったって
話でさあ…
親方は
話が上手いねェ
名調子だ
面白い！
おだてたって
何も出ません
ぜっ！
どんっ
……そうですねェ
お小夜があんな真似さえ
始めなきゃ 今頃
与三松旦那の天下
だったかもしれませんね
あんな
マネって…？
御祈禱でさぁ



お小夜のヤツ
教祖様をきどって
お寺を攻撃し始めた

これにゃあ
さすがの和尚さんも
堪忍袋の緒を切りなすった
もとが太っ腹な人だけに
いったんおこれば恐ろしい

島でお寺と網元に
楯ついちゃ おしまいです

でお小夜聖天
旗色が悪くなるにつけ
だんだんおかしくなっていった

しまいにゃ
信者を折檻して
殺しかけましてね

とうとう座敷牢に
ぶちこまれちまった
んでさあ

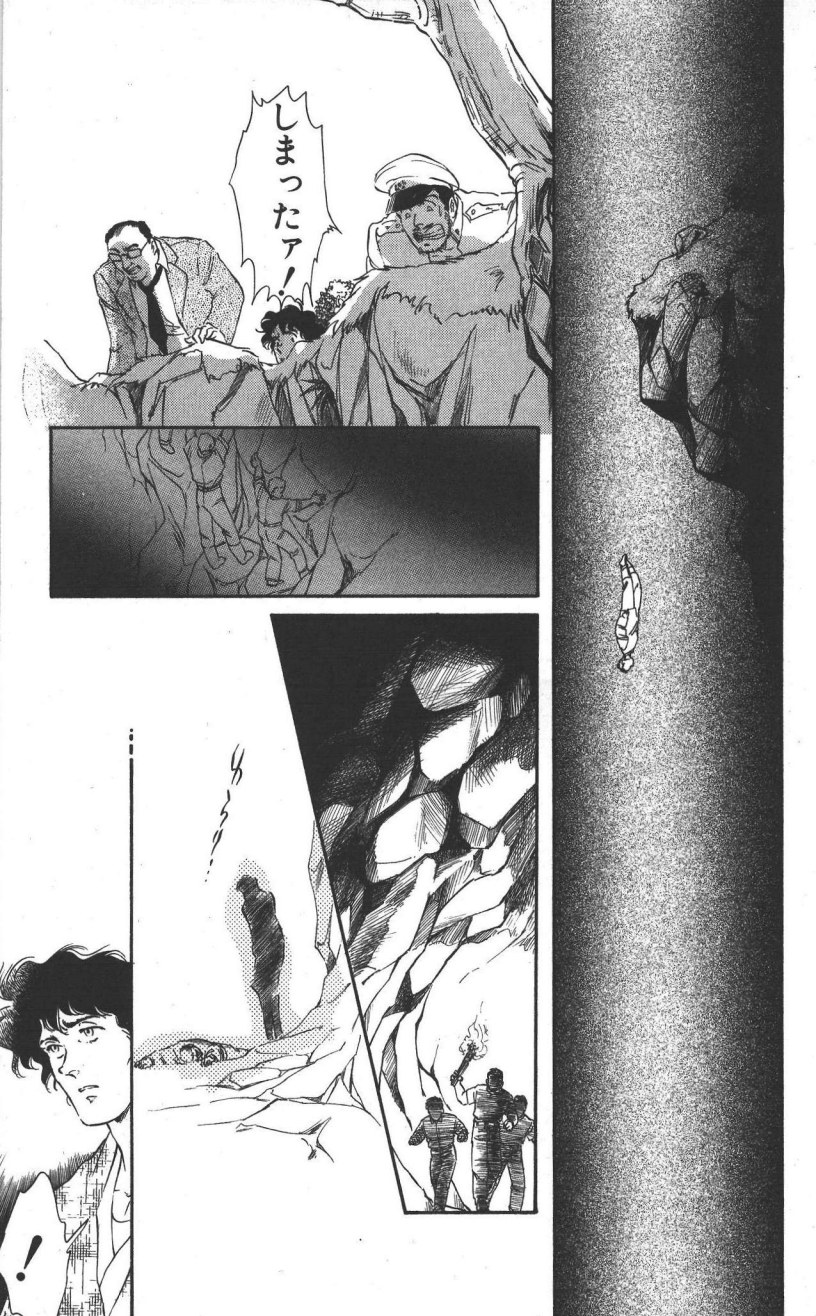
え…？
じゃあ——

もともと あの牢は
お小夜のために
作られたんですよ

お小夜が
狂い死んでから
与三松さんも
おかしくなっち
まうし——


お小夜ひとりのために本鬼頭もガタガタでさ…
金田一さん！見付かったらしいぞ！
あそこだ！
しめた！むこうは崖で行き止まりだ!!
よしっ
清水君！無茶するなっ


うわっ
ギュン
ギュン
警部(けいぶ)っ
こちらも撃(う)ち
ましょう!!
よしっ
殺(こ)すんじゃ
ないぞっ
うわあ!


しまったァ!
ううっ!
!


——こんなところへ——
——早苗さん——
あなたは この男を
知っているんですか
これはほんとうに
あなたのお兄さん
ですか!?


ちがいました！
兄(あに)ではありません
でした！
…妙(たえ)だなぁ


どこにも弾丸の痕がない
…ここ！
後頭部にひどい裂傷がありますよ
岩角にでもぶつけたか…
それにしちゃあ妙な傷だな
――同じだ――
花子の時と同じ凶器だ!!
犯人は他にいる！
金田一さん？


月代があぶない!!
幸庵さん
幸庵さん
そんなに飲んじゃいけません
今夜はただの晩ではありません
ただの晩じゃない…?

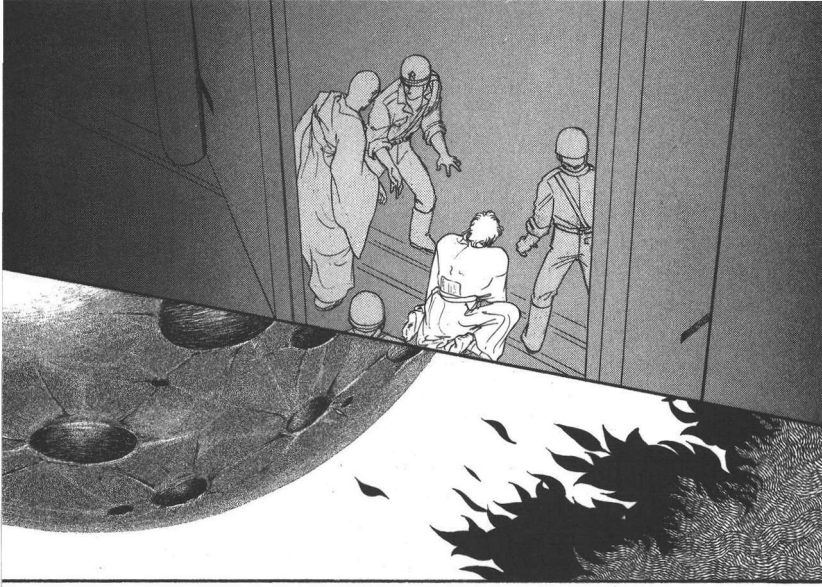

あぼぉは…
そんなこと
言われいでも
わかっておる
……今夜は
雪枝と花子の
通夜の晩じゃ
なぁ……
そうでは
ありません
月代さんを
お守りせねば
…
これ！
幸庵さん
もし
了沢さん
あんたミイを
見やしなかった？
…いえ？
まったく
こんな忙しい時に
早苗さまで
姿が見えないし
てえへんだ!!


気ちがいさんが
逃げた!!
ああ もう…
猫に病人に……
幸庵さんは
役に立たないし
じゃあ あっしら
外を捜しに
行きますんで!
ここは よろしく
了沢…くん


金田一さん！
…月代…さんは…？
大丈夫ですよほら鈴をふっている音がするでしょう？
…月代さん？
月代さん——入りますよ


――駒が勇めば花が散る
猫が踊れば鈴が鳴る


鬼頭(きとう)——!!



――数時間後
捜索の人々によって
与三松はつれもどされた



おお！

…自分の娘が死んだというのに

因果なもんだ……

――悲劇は終わった

わずか三夜のうちに総ては終わってしまった――

…たすけてやってくれ……

三人の妹たちを…

…おれに代わって…

たのむ……


——あの——
お食事
どうなさいます？
磯川警部さんたちは
もう
広間のほうで
召しあがってます
けれど…
こちらへ
運びましょうか？
いや…
いいです


早苗さん
ゆうべ
あの座敷牢を開いて
病人を外へ出したのは
あなたですね？
——千万太君の
お通夜の夜——
あなたと勝野さんが
花ちゃんを探しに行って
——座敷牢のほうで
あなたが悲鳴を
あげられた…
あの時は
与三松さんのせいで
かたづけられてしまった
けれど——
本当は
復員服の男が
座敷牢のそばを
うろついているのを
見たから——
そうでしょう？
そして あなたは
その男を兄さんと
思われた


…どうして
言ってくださら
なかったんです？
…自信が
なかったのです…
本当に兄なのか
…似てるように
思ったのですけど
それに…
兄さんだとしたら
どうして こっそり
帰ってきたのか
どうして
私から
逃げるのか——
…悩んでいるうちに
花ちゃんが
殺されて——


死体のそばに
その人のものらしい
足跡があると
聞いた時——
…こわくて…
ただもう
こわくて——
——あなたは何を
そんなに恐れたん
です?
いや
早苗さん
だけじゃない
もしかしたら
島の人たちは
みんな
知っていた様な
気がする
千万太が死んだ——
だから
三人娘が殺される
——


一さんに本鬼頭を
つがせるために——
あなたも
そう思ったから
兄さんを助けようと
したのでしょう?
与三松さんを
外へ出したり
食料を
置いておいたり
して——
…私が
私が馬鹿だった
だけです…



一さんだと
思いこんでいた

だから
和尚も村長も
幸庵さんも
かばっているのだと——




金田一さん
大丈夫かね？
ええ…
大丈夫って
顔じゃないが…
捜査は
進んだんですか？
うん…
まあ…


この手拭いで——
そう…
祈禱に熱中している
ところをうしろから
縊られたんだな
そうとう
暴れとるよ…
持ち主の特定は
できなかったん
ですか——？
島のもんなら
たいてい もっとる
そうだよ——
亡くなった爺さんが
二十巻あまりも
染めさせて
配りまくった
そうだからな


切り口だけいやに新しい…？
やあ親方
ヘェ…どうもどうも
探偵さん
またえらいことで…
旦那がたもてえへんだ
探偵さんも頭の使いすぎじゃないんですかい？
お顔の色が悪いですぜ
はは!
…いえね


妙なことを聞きやして…
吊り鐘が歩いたってんですよ
なんだいそりゃあ…
妙でしょう?
い…いつのことです!?
雪枝さまの殺された晩でさあ
島の若い漁師があの日沖へ出てましてね

日も暮れて
島めがけて
漕ぎもどしてた
ところが――



ガケっぷちに
変なものが
おいてある

ああ 吊り鐘が
あんな所に――
なんて思いながら

しばらくこいで
またふと
上を見ると

今度は天狗の鼻に
吊り鐘がいたってん
ですよ！

…え？

つまり…
だから

最初の場所は
天狗の鼻から
ちょいと下の坂のとこ
なんですよ

同じ場所を
見間違えたん
だろう？

とんでもねェ

だいいち
あの二か所は
一緒にゃ見えねェんで
間に松林がでっぱって
ますからね

分鬼頂へ

この島には
吊り鐘が二つ
あるんですか？

とんでもない
戦争中は一つも
なかったくらいで…

だから吊り鐘さんが
寺へ帰りたくって
歩きだしたんじゃ
ねェかって……

一つしかない
吊り鐘——

もう一つは
——？

ウ！

ウウ…

…何か

何か
あるんだ…

事件をとく鍵が――

…あの？

うん…ちょっと変わった人でね

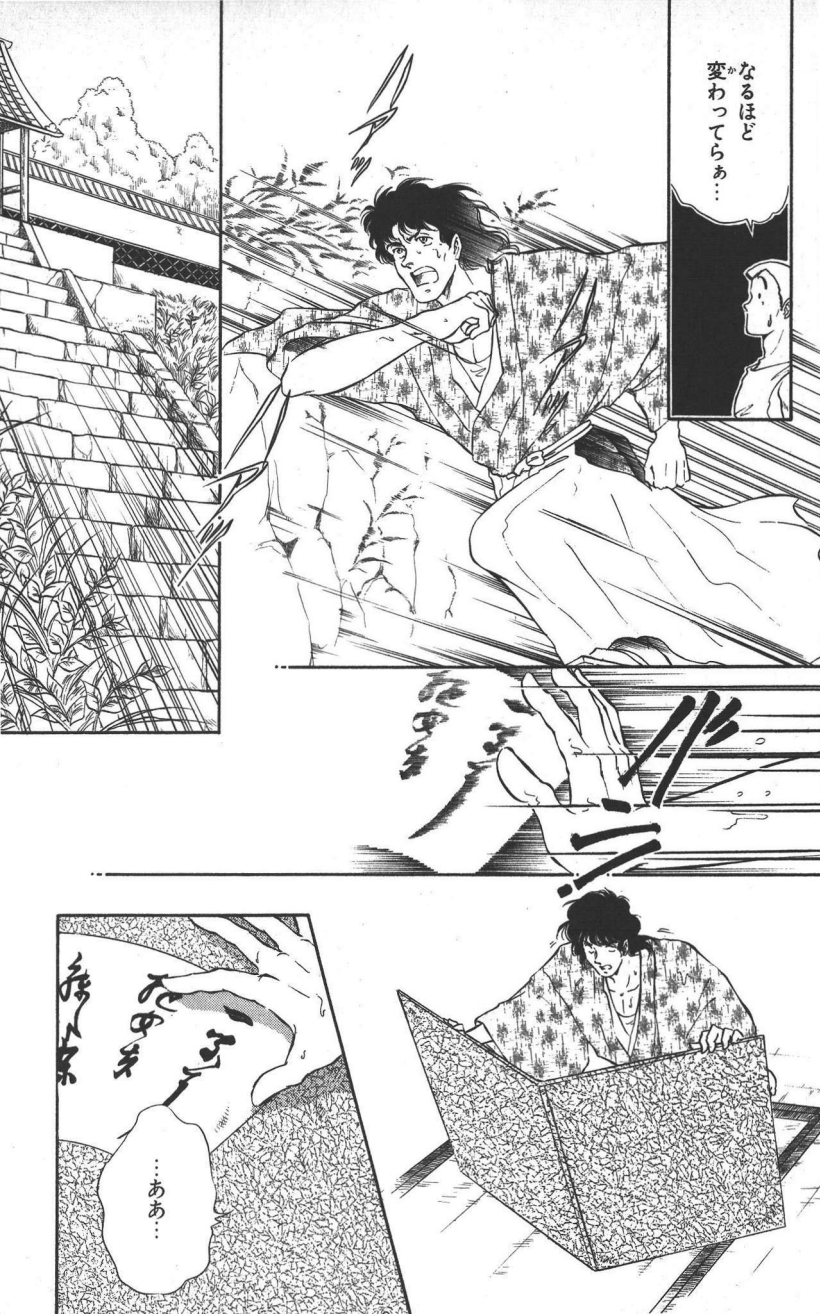
おっといけねぇ店へ戻らねぇと…

こんな騒ぎで商売になるのかね？

へへ…みんなウワサの持ち寄りあいで…すっかりたまり場になってまさあ


とうとう
月代さままで
一つ家でしめ殺されたっ
てんですからねェ
…一つ家…？
あの祈禱所の
ことですよ
村のものは
みんなそう呼んで——
一つ家……？
一つ…


一つ家に
遊女も寝たり
萩と月
芭蕉
金田一さん??


なるほど
変わってらぁ…
…ああ…


そうだ…これだ
死体の上にばらまかれた萩の花
——それから——
——むざんやな青の下のきりぎりす——
白拍子は遊女——
金田一さん
あんたいったい何を思いついて…
警部さん！
これをっ——
この色紙を読んでください!!
え…？


ああ
其角ですね
ずいぶん
ひねった字
だな…
こりゃ
——鶯の身をさかさまに初音かな——
ですよ


…金田一さん？
…なんて…
なんて道化だ


気ちがいだ！
獄門島の住人はみんな気ちがいなんだ
気がちがっているんだ
気が……
キガチガッテイル？
鶯――鶯が鳴くのは――
きちがいじゃがしかたがない


は…
キが…
アハハハ
そうだ…
季が
ちがって
いる！
ハハハ
たしかに
ちがってる
ははは…
はは…
は…は…


——おれは
なんという
バカだったろう……
嘉右衛門さんの
ことを聞きたい
いわれるのかな
はい——
…そうじゃな
まさに太閤さんの
ような人でしたな


あの人は
島を富ませて
くれた
海賊よ流人の子孫よと
さげすまれて
貧しさと絶望に
沈んでおったこの島が
ここで一番
豊かになったのは
総てあの人の
おかげでしたな
わしなども
そのおこぼれで
ここまで来た
ようなものじゃ
晩年はずい分
不幸だったと
いう話ですが…
島のうわさを
聞きなすったろう
確かに
わしと嘉右衛門さんの
仲はようなかった
しかし…

わしは あの人の
趣味や道楽に
つきあいきれん
かったからなあ

それが
気にいらんかった
んじゃろう

…嘉右衛門さんは
雑俳にこって
らしたそうですが

うむ……
しかし一時のことで
じきにあきて

次は
「何々見立て」と
いうものに
凝り始めた

…例えば——

「見立て料理合わせ」
というのをやらされたな

題は
「忠臣蔵十二段返し」


「討ち入り」の段に
見立てた料理を
つくれと言われて——
よわっていたら
幸庵が
討ち入りだから
雪をきかせて
「笹の雪」を出せば
よいと——
※笹の雪＝絹ごし豆腐のこと
——見立て——
そうか…
和尚や村長たちと
よく四人で
やっておったようじゃよ
——あと一つ——
吊り鐘のことを
お聞きしたい
のですが——
吊り鐘？


三人娘の
お母さん——
お小夜というひとが
芝居で使った
ヤツです
〝道成寺〟には
吊り鐘が必要
でしょう？
ああ——
あの
まんなかから
割れるしかけの…
本鬼頭の蔵の中
だと思うが——
しかしありゃ
竹に紙をはった
だけの
こさえものじゃが？


金田一さん
いいかげん説明してくださいよあんた竹蔵に何を捜させているんです?
…それが…
ありましたよ!!


おっしゃったとおり
おもりを結んだ
ロープを切って
きました
ああ！
――ありがとう!!
なんです
いったい――
ドボン
!?
ドド
…吊り鐘ですよ


最初に清水さんたちが見た吊り鐘はこっちだったんです
本物の吊り鐘と振り袖の上からこれをかぶせて——
何もないように見せておいてから
龍頭に綱をまきつけて——その先のおもりを海へ放りこむ
張り子の吊り鐘も二つに割れてガケから下へ——
なんのためにそんな仕掛けを——


犯人が——
アリバイを
つくるため——
え？
…南無…


——翌日——
霞雨にけぶる
千光寺では
伝法の儀式が
とり行なわれていた
千光寺
ふつう一週間はかかる
この儀式を
了然和尚は
半日で終わらせ
…
了沢君に
寺をつがせた——


では了沢和尚
村の皆さんに
よく御挨拶をな
はい！
お待ちどおさま
わしに用とは
なんかの？


和尚さん……
——和尚さん
きょうは あなたを
縛りに来ました
わしを？
なんの罪で？
花ちゃんを…
花ちゃんと海賊を
殺した犯人として


…わしが？
はて
そんなことが
できましたかな？
…聞いていただけ
ますか和尚さん？
花ちゃんが
殺されたのは
千万太君の
お通夜の晩
でした——


あの日 花ちゃんは
六時十五分頃に家を
出て——
死体となって発見
されるまで
誰も彼女を見たものはない
寺へのぼったとしたら
当然 誰かに会って
いなければならないのに——


——つまり花ちゃんは
寺へは来なかった
死体になってから
寺へはこびこまれた
のではないか——
地神様の祠のなかで
見つけました
花ちゃんの
かんざしから落ちた
ものでしょう
花ちゃんは——
あの祠で鵜飼君を
待っていたんでしょう
あなたに
だまされて——
ぼくが地神様の
前を通った時には
花ちゃんはすでに
祠の中にいたんです——

それから
少しおくれて
和尚さんたちが
寺を出た——

…あの時 わしは
了沢や竹蔵と
いっしょだった
はずだが——？

——ふたりに
裏づけを
とりました

了沢君には
忘れ物をとりに
寺へ帰し——

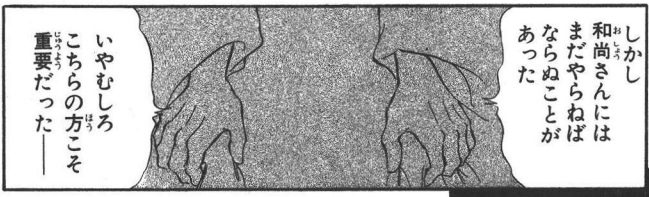
竹蔵さんには
わざと下駄の鼻緒を
きって先に
追いやられた——

——花子

花子や
来ておるかえ

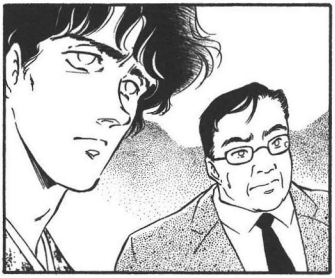

和尚さぁん？
哀れな花ちゃんは
人を疑うすべを知らない
顔を出したところを
如意棒で一撃
念のために手拭いで首をしめて
あとは狐格子を
しめるだけ——





花ちゃんの死体を寺へはこんで
梅の木にさかさ吊りにするという仕事が——







和尚さんは実に
しぜんに手配りを
なされて

ひとりで さきに
寺へ帰られた

もちろん
花ちゃんの死体を
祠から出すために——

そして——

ああ
和尚さんがあそこへ
かえっていく

提灯は
あまりに ゆっくり
ゆれていました

ゆらり ゆらりと——

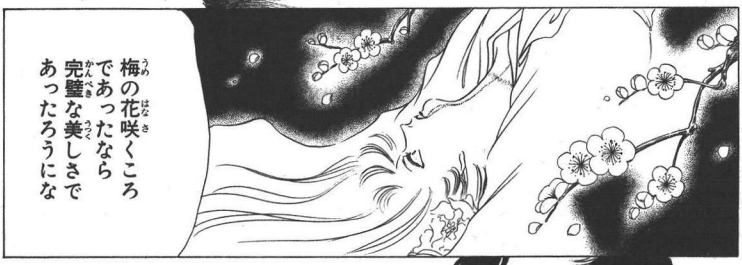
なんということでしょう
あの時——


和尚さんの背中には
花ちゃんの死体が
負われていたのです
！
…闇がすべてを
おおいかくしました
我々に見えたのは
ただ 和尚さんの
提灯のあかりだけだった

そしてあなたは
寺につくと
花ちゃんを木に
さかさに吊し——

花ちゃんの血と肉で
あの俳句の見立てを
された——








ア…アンタは!!
仏につかえる身でありながら——
なんておそろしい——
磯川さん
和尚さんよりもっとおそろしい人物がいるのです
すべての殺人を計画し——命令した人物が
え?
去年亡くなった嘉右衛門老人——!!


…僕には
目に見えるようだ…
…頼むぞ…
拝むぞ…
もし千万太が
死んで
一が
生きて帰ったら
あの三人を
殺してくれい
…し しかし
御三人は
嘉右衛門様の
血をわけた
お孫さま——
あやつらは
わしの孫などでは
ない!!


よそ者の生んだ災いの種にすぎん……
すさまじいお小夜への憎悪と本鬼頭の未来への不安と——
修羅の妄執じゃ…
…これをおまえたちに形見にする
これを見たらわしの遺言を忘れるようなことはあるまい
そして和尚さんには其角を
村長さんにきりぎりすを
幸庵さんには萩と月を——
くり返しくり返しひとりひとりの殺し方を説明して——
村長と幸庵!?


——そうです
雪枝ちゃんを殺したのは
村長の荒木さんで
月代さんを殺したのは
幸庵さんです


しかし村長には
アリバイが——
！
そうです
あの張り子の吊り鐘です
——あの日
雪枝ちゃんが
吊り鐘の中へ
おしこまれたのは
雨のふる前——
おそらく
六時すぎの
ことでしょう

そして本物と振り袖の上から
張り子をかぶせて
何もないことを清水さんに
見せておいてから

そういえば…

あの屋をおりてすぐ
村長が小便をすると
いうので わしは
ブラブラさきに
行ったが……

おもりを海に
つき落とした——

——月代さんの場合——

反のまま染めてある手拭いを
祭壇の横の吹き流しの中に
まぜておく——

そして手拭いのはしを持って
祈禱に夢中になってる
月代さんの首にまきつけて
ひっぱる——

そして月代さんが
絶息してから
手拭いを切り
とった…

こうして片腕の幸庵さんが
日本手拭いで ひとを絞め殺すという
不可能犯罪ができあがったのです







…なにもかもが揃いすぎたのじゃ

約束はしたものの わしらは本気には していなんだ

だいいち 吊り鐘がなくては 見立てが完成せぬ

…でも 吊り鐘は もどって来た——

さらに 一さんの生還と 千万さんの死——

……

千万太君も一さんも 死ねば——

やはり早苗さんに あとを つがせるために…

——いや それは ちがう

え…？


嘉右衛門さんには
女の子は
眼中になかった
だから両方死んだ
場合にはしかたない
月代に蓑子を
とらせる——
早苗さんのために
三人娘を殺そうとは
考えていなかった
…もし一さんも
死んでいたら…
三人娘は
殺されずに
すんだんですか？
…そうじゃ
千万さんの死
一さんの生還
——そして吊り鐘
揃いすぎたのじゃ

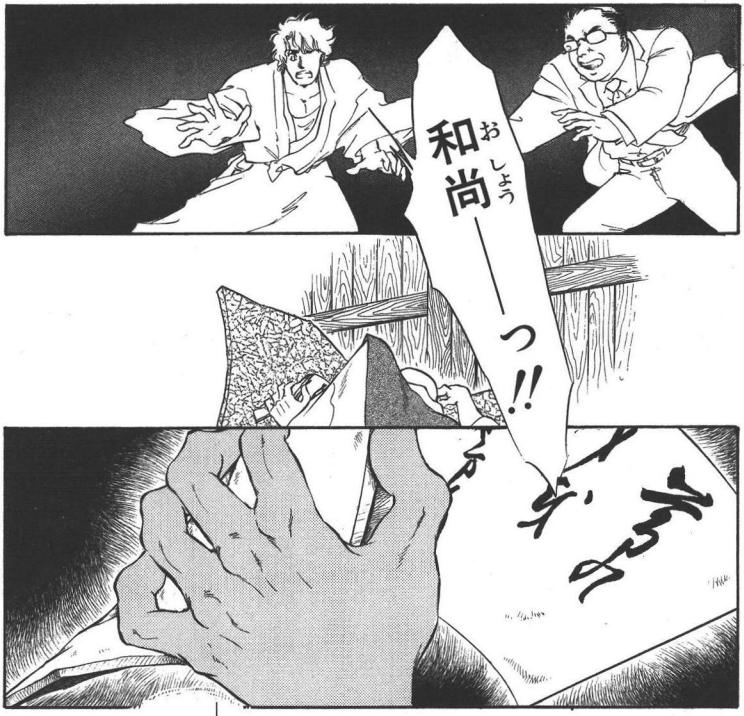

すべては――
運命じゃ……
……誰じゃな
あの…
金田一さん
はい？
いい
村長が自殺
しちまったんです
――例の――
復員詐欺の話をしたら
――幸庵さんも
気がへんになっちまって


復員詐欺？
それは なんの 話かな？
…神戸で…復員詐欺が つかまって…
戦死した友人の家でも「生きている」と報せてやると御馳走もお礼もフンパツするので
かたっぱしから ウソを言って 歩いていたと…
…そ…それじゃあ
もしや 一さんは…


そうです
戦死したのだそうです
和尚さん！


…南無(なむ)…
嘉右衛門(かえもん)どの…





——それが了然(りょうねん)さんの最期(さいご)であった

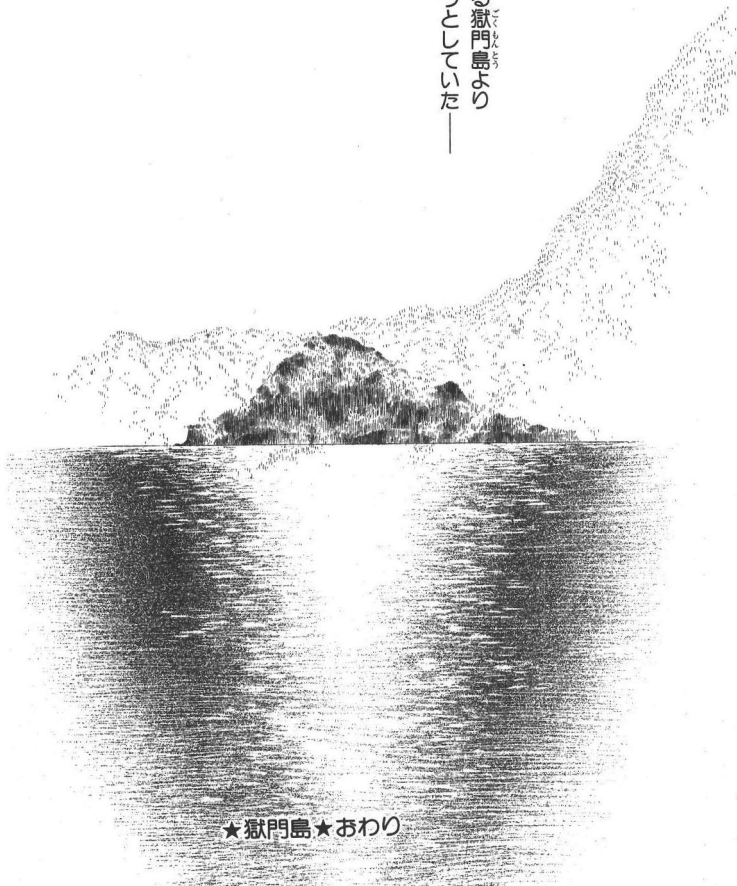

——ごきげんよう
お元気で——
探偵さん
竹蔵さん
本鬼頭をたのみます
和尚も村長も幸庵さんも
みんな——みんな
いなくなったのだから
へえ…
へえ！


——早苗さん——
僕は明日
島を去ります
東京に
出る気は
ありませんか？
…いいえ


あたしはここに
残ります
そして
かなわぬまでも
本鬼頭を守り
そだてていきましょう
おじいさまのためにも
――死んでいった
ひとたちのためにも
でも
ありがとう
ございます…


ゆるやかに霧雨をついて
鐘の音がながれてくる
了沢君が　わかれの挨拶に
鐘をついてくれるのである
恐ろしい想い出のある　あの鐘を
南無…

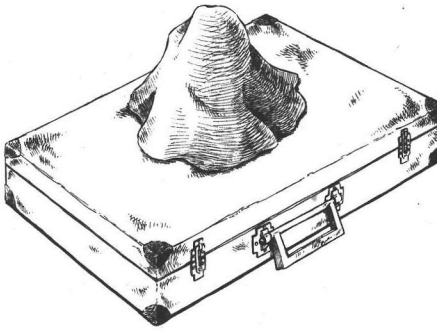
やがて 霧雨(きりさめ)けぶる獄門島(ごくもんとう)より
夏は去(さ)ろうとしていた――



★獄門島★おわり

雑記

金田一耕助考



亜米利加からブラリと現われた名探偵は、『本陣殺人事件』を解決した後――他の全ての青年たちと同じように、ボニン次世界大戦という大きな時代の波にのまれてゆきます。　…そして終戦。　日本という国が居場所を求めてさまよっていた頃、彼は帰ってくるのですが…。『百日紅の下にて』で一人の死者の名誉と、もう一人の男の心を救った後に、やっとのぴてきた愛をかみしめながら、金田一耕助がたどり着いた場所が『獄門島』――ということになります。

初期の金田一耕助譚では、岡山県や瀬戸内の島々などの山陽地方が舞台になることが多く、磯川警部とコンビを組んで事件にあたる彼は、とても生き生きとしているように思えます。年令的にもまだ若いせいもあるのでしょうが…。暗い、陰惨な事件のなかに、自分自身の居場所を見つけた――少なくとも殺人事件の渦中にいる限り、彼は必要とされるのですから。彼自身の人なつっこさや朴訥さが、暗い事件に柔らかな光を投げかけている一と思うのは私の欲目ばかりではありますまい。　私見ですが、金田一耕助という人物には"放浪者"というイメージがつきまといます。事件のない時の彼は　いかにも所在なげで、自分の居場所が見つからずウロウロと自分を必要としてくれる空間をさがしている……。　その彼をサポートするのが、穏やかで実切な知りえた磯川警部であり、陽気で活動的な東京(警視庁)の等々力警部である一というのも実に名探偵にとっては幸運なことでしょう。　なにせ"社会生活不適格者"な彼にとっては、この面倒見のいい御両人や久保銈造をはじめとするパトロン諸氏は、必要欠くべからざる支人たちですから…。



余談。昭和20年代推理あたりから、東京を舞台とした Story が増えますが、武蔵野あたり…吉祥寺などの描写を読んでいると――裸で走りまわりそうな下宿、現在のファッショナブルがホルすう治線と見たら、彼は何ということでしょう…。



映像化された金田一耕助。——
横溝先生御本人は、あまり映画等はお好きでなかったようですが、私などは 角川映画『犬神家の一族』が、横溝作品との接点、でしたので…。
作品世界を完全に表現することはできなくても、本を汚す罰になれば… 私が漫画を描いたのも、そういった心理で、手があうかないのは覚悟の元でした。 …それでも、他誌のほうなどに(笑)ずい分たくさんお献立をいただいて… なんとか最低限の質は保てたかしら—というのが、描き終えた今の正直な感想です。
もはや challenge の機会があれば…"本陣~"に……?

最近(90秋) たて続けに TVで 横溝作品が 映像化されました。『獄門島』、『女王蜂』『悪魔の手毬唄』…各作品金田一耕助はそれなりの人選でしたが(『悪魔~』はおなじみの古谷一行。)、何やら新機軸を打ち出しすぎて頭が追っつかないのやら、小道具ばかりこっていてワケのわからないのやら…昔の毎日放送で作られた『獄門島』や『黒猫荘事件』のようなレベルの作品は、もう作れないのでしょうか—?
"金田一耕助、もずい分たくさんのかたが演じてこられました。一番イメージの強いのはやっぱり、映画の石坂浩二と TVの(一時映画の)古谷一行、御両名ですが…。意外と合っていた西田敏行、鶴太郎。ひんまげ返った堀美清、神谷寛、etc… 古い作品だと全くイメージ。なんて どこかへ行ってますしね」(中折れ帽とミツ揃いのスーツとピシッとキメて、ピストル片手に犯人と対決する金田一耕助なんて…!)
ずい分前に、ある編集者にお聞きしたのですが、横溝先生は 中野重吉の若い頃、というイメージを持っておられたとか…。(ゆめ 寺尾聡に髪を伸ばしてもらったらーとかくだらないことを考えていた私でした。(案外イメージに近いかもしれない。)
横溝正史作品の世界は 映像化にむいている—暴論かもしれませんが、私はそう思っています。凄惨美、哀切、そして 大叙性——。乱歩世界のような行間の恐怖—しかも主に心理的な—と違って、画像による表現の可能な世界だと思うのです。 さらに金田一耕助という名探偵の人間的魅力と道具立てのサービス精神もあいまって、映像作家(とゆか弘がどれほどいるかはわかりませんが)には興味のある素材でしょうから…。願わくば、もっともっと面白い作品を見せて欲しいです —本当に。

・・・やがて彼は 再び亜米利加へと去ります。

人の心の哀しさに 倦み疲れて――

彼岸の大陸には 彼の居場所はあったのでしょうか……



★雑記・金田一耕助考★おわり

〈初出〉
●獄門島●1990年増刊「ASUKA」ミステリーDX号掲載
●雑記・金田一耕助考●描きおろし

あすかコミックス
獄門島

著者……JET 原作 横溝正史
©JET 1990 ©SEISHI YOKOMIZO 1990
初版発行……1990年12月17日
4版発行……1996年5月1日

発行者……角川歴彦

発行所……株式会社 角川書店
〒102 東京都千代田区富士見2-13-3
振替＝00130-9-195208
電話＝編集部03-3238-8646 営業部03-3238-8530

印刷……廣済堂印刷株式会社

製本……廣済堂印刷株式会社

Printed in Japan ISBN4-04-924208-7 C9979

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

ASUKA COMICS

9784049242089

1919979004003

ISBN4-04-924208-7

C9979 P400E

雑誌49215-59

角川書店 定価400円(本体388円)

獄門島――この不吉な名を持つ孤島を、ひとりの男が訪れたところから、事件は始まった。次々と殺されてゆく三人娘…絢爛たる〝見立て殺人〟の犠牲者たち。動機なき殺人者を追う金田一耕助の推理は――？　横溝正史の最高傑作を完全漫画化！

